

Japanese Society for Day Care Treatment
日本デイケア学会

NEWS No. 33

日本デイケア学会広報委員会
2016年9月10日発行
日本デイケア学会事務局
東京都文京区本郷2-17-13
(有) エム・シー・ミュージズ内
TEL: 03 - 3813 - 6368
FAX: 03 - 3813 - 6368
E-mail: info@daycare.gr.jp
http://www.daycare.gr.jp

秋の金沢にぜひお越しください。

日本デイケア学会 第21回年次大会 大会長 松原 三郎
社会医療法人財団松原愛育会松原病院理事長

いよいよ、日本デイケア学会第21回年次大会金沢大会開催まで、のこり1ヵ月となりました。演題も予想以上の数のご応募をいただき感謝しております。スタッフ一同、開催に向けてラストスパートをかけて取り組んでいるところです。

本大会のテーマを、「地域に選ばれ地域と生きるデイケア～未来にかがやきを～」と題したのは、デイケアは精神障害者にとって、地域の中でかけがえのない施設であることは言うまでもありませんが、常に地域を意識し、地域と密接な連携を持つことが重要であると考えているからです。そのために、今回のシンポジウムなどの内容は、デイ・ケアという枠組みを踏み出して、精神障害の人達を地域で如何に支えるかと言った問題にまで及んで検討を加えようとしています。今回の大会では、デイ・ケアの持つ役割をもう一度見直し、そのうえで、精神障害の人達がどうすれば地域の中でいきいきと生活できるかを考える機会としていただきたいと思います。

特別講演は「未来のデイケアの役割を探る」と題して、五十嵐良雄先生(メディカルケア虎ノ門院長)にご講演いただきます。教育講演は、リハビリ分野を池淵惠美先生(帝京大学医学部精神神経科学講座主任教授)に「デイケアは誰のものかーリハビリ支援ー」、発達障害分野を宇佐美政英先生(国立国際医療研究センター国府台病院精神科児童精神科医長)に「デイケアにおける発達障害を抱えた人への対応」、高齢者分野を水野裕先生(い

まいせ診療センター認知症センター 副院長兼認知症センター長)に「認知症ケアにおけるパーソン・センタード・ケアについて」ご講演いただきます。いずれも専門性の高い興味深い内容です。

シンポジウムは、大会長企画シンポジウムとして、「地域で支える精神保健医療の多様性」、緊急企画シンポジウムとして「精神科デイケアに期待するもの～平成28年診療報酬改定が目指している方向性を問う～」、Ⅰ「これからの精神科デイケアに求められるもの」Ⅱ「これからのリワークプログラム」、Ⅲ「若者のためのデイケアの有効性について」、Ⅳ「リハビリ概念に基づいたデイケア～理念と方法論を考える～」、Ⅴ「認知症デイケアの機能を見直す～地域で認知症高齢者を支えるために～」と、デイケアに関する幅広い分野の内容を企画しました。

分科会は口演発表85題、ポスター発表33題が2日間にわたり発表されます。

1日目の午後には市民公開講座として、前金沢市長の山出保氏に「金沢の文化とところ」としてご講演いただきます。山出氏が市長在職中に整備された金沢21世紀美術館、鈴木大拙記念館、金沢能楽美術館のほかに、日本三大名園の一つ兼六園や金沢城等は、大会場の金沢歌劇座よりいずれも徒歩圏内にございます。当大会のみならず、金沢の文化や歴史にもふれていただければ幸いです。多くのご参加を心よりお待ちしております。

次期診療報酬改定の課題と対応に関して

日本デイケア学会理事長 原 敬造

厚生労働省の次期診療報酬改定のデイケアに関する見解は、「長期にわたり、頻回にデイ・ケアを実施している場合について、就労・就学、障害福祉サービスの利用等を含め、より自立した生活への移行を促すよう、必要な適正化を行う。」としているが、“より自立した生活への移行を促す”という視点は極めて重要であり、我々のリハビリテーションの目標であり、また、リカバリーにも通じる視点で賛同できるものである。その点を実現するためには、診療報酬上での措置として、以下の点が肝要と考える。

1. ケースマネジメントの視点

これまでの当学会などの調査によれば、就労プログラムを実施しているデイケアは、実施していないデイケアに比較して就労・就学、障害福祉サービスの利用へとより良く結びついていることが分かっている。より目標をはっきりさせた取り組みを行うには、ケースマネジメントの視点が欠かせない。そうした視点を入れデイケアの標準化を図ることで、長期に渡り、頻回にデイ・ケアを実施していることへの適正化を行うことができる。

2. デイケアの標準化

デイケア利用時からケースマネジメントを行う。具体的には、ケア会議を開いて、個別計画を立てる。個別計画は利用者の希望に基づいて作られなければならない。利用者の希望の実現にとって重要なプログラムの標準化を図る。ソーシャルスキルズトレーニング、集団認知行動療法、心理教育、家族教室、就労・就学支援、リワークなどへの取り組みがポイントになる。そのうえで、デイケアの標準化プロセスを定期的にモニタリングする。モニ

タリングのためには、評価の標準化が必要であり、日本デイケア版リハビリテーション評価表は最適である。デイケアのアウトカムデータを取り、その結果を外部に示す。終了時に日本デイケア学会版リハビリテーション評価表を用いて評価し、デイケアの効果を評価する。

3. プログラム以外の活動

利用者ごとの受け持ち性を実施し、個々のニーズの把握に努める。家族会を開催し、家庭での課題や悩みを共有し、支えあう体制を作る。外部機関（自立支援機関やハローワーク、事業場など）とのケア会議を実施する。病状の重い患者を地域で診ることも医療の責任であり、デイケアにアウトリーチも組み合わせるような重層的なサービスも必要である。

今後の考え方

デイケア利用の回数制限が厳しくなるとすれば、財政中立の立場から、その減収分は小規模デイケアの点数の引き上げ、就労プログラム、SST、リワーク、集団認知行動療法、家族教室、心理教育など専門的プログラムを行っているデイケア、人員を過配置している施設に加算するなどを求める。

医療観察法の患者、重度かつ慢性患者などより重度な患者の地域生活を支える要としてデイケアの役割を強調する。

日本デイケア学会 第21回年次大会金沢大会のご案内

大会テーマ

**地域に選ばれ地域と生きるデイケア
～未来にかがやきを～**

大会長

松原 三郎 (社会医療法人財団松原愛育会松原病院理事長)

大会URL

<http://www.daycare21.jp>

会 期

2016年 10月13日 (木) ～ 10月14日 (金)

会 場

金沢歌劇座 (石川県金沢市下本多町6-27)

学会主催研修会

年次大会終了後、研修会を実施いたします。
年次大会の参加とは別に、お申込みが必要となります。
※詳細はホームページをご参照ください。
お問合せ先：日本デイケア学会事務局
TEL: 03-3813-6368 FAX: 03-3813-6368

事前参加登録について

・事前参加登録は8月31日(水)で終了しております。
学会場にて当日登録を受付けておりますので、ぜひ会場へお越し下さい。
会員：当日登録：8,000円
一般：当日登録：9,000円
詳細につきましては、大会ホームページをご参照ください。
※会期当日から週末にかけては市内の宿泊施設の混雑が予想されます。
ご自身での確保を予定されている場合は、お早めの予約をお勧めします。

懇親会について

・日時：2016年10月13日(木) 18:00～20:00
・会場：しいのき迎賓館 2階ガーデンルーム (石川県金沢市広坂2-1-1)
・参加費：5,000円
※当日受付にて参加可能です。ご参加お待ちしております。

研修単位の
認定について

・本大会は日本精神神経学会専門医資格更新にかかる単位の取得ができます。
また、日本作業療法士協会の生涯教育基礎ポイントが取得できます。

連絡先 【大会事務局】

社会医療法人財団松原愛育会松原病院
〒920-8654 石川県金沢市石引4-3-5
TEL:076-231-4138 FAX:076-231-4110
E-mail:daycare21@nex-tage.com

【運営事務局】

株式会社ネクステージ
〒920-0059 石川県金沢市示野町南45番地
TEL:076-216-7000 FAX:076-216-7100
E-mail:daycare21_office@nex-tage.com

日本デイケア学会第21回年次大会金沢大会プログラム

- 【大会長講演】 石川県におけるデイケアと地域精神医療活動
松原三郎（社会医療法人財団松原愛育会松原病院 理事長）
- 【特別講演】 未来のデイケアの役割を探る
五十嵐良雄（メディカルケア虎ノ門 院長）
- 【教育講演】 I デイケアは誰のものかーリカバリー支援ー
池淵恵美（帝京大学医学部精神神経科学講座 主任教授）
- II デイケアにおける発達障害を抱えた人への対応
宇佐美政英
（国立国際医療研究センター国府台病院精神科 児童精神科医長）
- III 認知症ケアにおけるパーソン・センタード・ケアについて
水野 裕
（いまいせ診療センター認知症センター 副院長兼認知症センター長）
- 【文化講演】 金沢の文化とところ
（市民公開講座） 山出 保（前 金沢市長）
- 【大会長企画シンポジウム】 地域で支える精神保健医療の多様性
- 【緊急企画シンポジウム】 精神科デイケアに期待するもの
～平成 28 年診療報酬改定が目指している方向性を問う～
- 【シンポジウム】 I これからの精神科デイケアに求められるもの
- II これからのリワークプログラム
- III 若者のためのデイケアの有効性について
- IV リカバリー概念に基づいたデイケア～理念と方法論を考える～
- V 認知症デイケアの機能を見直す
～地域で認知症高齢者を支えるために
- 【分科会】（口演発表）
- 【ポスター発表】
- 【施設見学会】 日時：平成 28 年 10 月 12 日（木）午後
見学先：石川県立高松病院、松原病院

デイケア 西から東から、北から南から…

ゆったり悠ゆう楽しくいきいき

遠藤 美子

重度認知症患者デイケアセンター「悠ゆう」は、山形駅から徒歩3分の山形さくら町病院1階にあります。山形さくら町病院は精神科単科で、精神科救急入院病棟(48床1病棟)、精神科急性期治療病棟(60床1病棟)、認知症治療病棟(51床1病棟)、精神病棟(60床3病棟)で構成された339床の病院です。

「悠ゆう」は平成9年5月に1単位25名定員で開所しました。山形さくら町病院が全面改築した平成20年4月からは2単位50名となって現在に至っています。

スタッフは、看護師6名、作業療法士3名、臨床心理士1名、ケアワーカー6名とあわせて16名で、専門スタッフによる適切な医学管理のもと、集団活動や個別活動を通して「健やかにいきいきと」を目標に、音楽療法士による音楽活動、検査技師による健康くらぶ、茶道の先生による抹茶など専門的なプログラムから、地域での生活者として感覚維持を目的とした「自分みがき」(整容を目的とし、爪切りひげそり等を行い、マニキュアやお化粧品等を楽しみます)など、無理なく楽しく参加できる多彩なプログラムを行っています。その中で、創作活動の作品「さくらんぼ」(ちり紙を丁寧に丸め、軸をつけたもの)は「第6回ふれあいつながる作品展(小野薬品工業株式会社主催)」に応募したところ、特別賞の「いーな、いーな賞」をいただきました。ゲスト審査員の片岡鶴太郎氏から心温まるコメントもいただき、みんなで受賞を喜びました。

「悠ゆう」の特徴は、医師の定期的な診察や看護師による体調管理、体調変動時の入院など、医療対応を充実させているところにあります。また入院中の方へは、ス

タッフが直接説明に伺ったり、退院を考えた体験通所などで本人と家族の不安軽減に努めています。

こうした対応から、最近は行政機関や地域包括支援センター、各介護事業所からの相談が増えてきました。

近年山形市内でも通所デイサービスの事業所が増えてきました。山形県は三世代の同居率、夫婦共働き率が全国でも高く(平成22年度は全国一位)、通所デイサービスの需要が高いことが背景にありますが、利用者がニーズに合った施設を選ぶことは必然で、「悠ゆう」も例外ではありません。あらゆる機会を通じて特徴をアピールし、多様化するニーズに出来るだけ早く対応することが求められていると思います。

私たちが目指すものは、利用者本人の満足、家族からの信頼、ケアマネジャーをはじめとした紹介者からの安心で、選んでいただける「悠ゆう」に努力しています。

(社会医療法人二本松会 山形さくら町病院 重度認知症患者デイケアセンター「悠ゆう」・看護師)

針生ヶ丘病院デイケアの今

本間 真

当院は、昭和8年に創設された福島県で最も歴史のある精神科病院です。公益財団法人金森和心会は、郡山市で針生ヶ丘病院、南相馬市で雲雀ヶ丘病院を運営しております。両施設とも精神科デイケアを実施しており、それぞれの地域特性に合わせた形で運営しております。

針生ヶ丘病院は、福島県の中央にある郡山市にあり、ベッド数が451床の精神科単科病院です。精神科デイケアの歴史は長く、正式に認可を受けたのは、平成5年ですが、それ以前からも、外来患者様の居場所として活動していました。現在は、大規模デイケア・ショートケアの認可を受け、月曜日から金曜日まで、そして月に2回、発達障害の方を対象としたプログラムを実施しております。

当院デイケアの特徴としましては、①年齢が高い方が多く日中の居場所として利用している方と若い世代の二極化、②男性が多く、若い女性が少ない、③発達障害の方の利用が多い事があげられます。

①に関しましては、若い世代には、心理教育や当事者研究等を実施し、自身の病気への理解を深め、様々な症状への対処法を身につけて、様々な形での就労に繋げております。また、年齢が高い方へは、趣味的な活動（麻雀やカラオケ、ゲートボール）を実施しながら、再発予防を心がけると共に、将来に向けての方向性を模索しております。

②に関しましては、女性のみを対象とした“女子会”を昨年6月から開始し、女性らしいプログラム（ネイル講座・お菓子作り・アクセサリ作成等）を実施することで、若い世代の女性の参加も増えております。

③に関しましては、当院は、元々、発達障害児の療育を行なっておりました。青年・成人期になり、つまずき、精神科デイケアを利用する方が増えてきました。コミュニケーションや社会性の障害から、グループでの活動が困難であることが認められたため、個別の対応から、徐々に活動の幅を広げていく方もいらっしゃいました。しかし、様々な刺激に対して過敏な方がおり、プログラムに参加できない方もいらっしゃいました。そこで、本年5月より発達障害デイケアプログラムをスタートさせました。発達障害に特化したプログラムであり、障害に配慮した構造化で運営している為、それぞれの方が、自分らしく活動し始めています。

今後も様々なメンバーのニーズに合わせたプログラムを提供し、一人ひとりが自分らしく生活できるようにサポートしていきたいと考えております。個人的には、Jcoresを用いて認知機能リハビリテーションプログラムを実施して、仕事に取り組む方を今以上に増やしていきたいと考えております。

(公益財団法人金森和心会針生ヶ丘病院・心理士)

日本デイケア学会役員

理事長：原 敬造

副理事長：五十嵐良雄、古屋龍太

理事：池淵恵美、内野俊郎、大丸 幸、小田良光、窪田 彰、熊倉徹雄、
栗原 毅、坂井一也、佐々木裕光、関 健、高尾由美子、友國由美子、
中野英子、西村良二、林みづ穂、肥田裕久、藤田さより、松永宏子
三家英明、四本かやの、渡辺克徳、渡邊文宏

監事：浅野弘毅、竹中秀彦

事務局長：小野寺敦志

評議員：(地区別、五十音順)

北海道・東北地区●熊倉徹雄 (DR)、中野英子 (PSW)、林みづ穂 (DR)、
原 敬造 (DR)

関東地区●五十嵐良雄 (DR)、池淵恵美 (DR)、窪田 彰 (DR)、
栗原 毅 (心理)、肥田裕久 (DR)、古屋龍太 (PSW)、
松永宏子 (PSW)

中部地区●坂井一也 (OT)、藤田さより (OT)

北陸・信越地区●小田良光 (PSW)、渡邊文宏 (NS)

近畿地区●三家英明 (DR)、四本かやの (OT)

中国・四国地区●友國由美子 (OT)、渡辺克徳 (心理)

九州地区●内野俊郎 (DR)、佐々木裕光 (DR)、西村良二 (DR)

高齢者全国区●大丸 幸 (OT)、関 健 (DR)、高尾由美子 (PSW)

(任期：平成 29 年度総会まで)

委員会 (会則第 13 条により、理事長が理事会に諮り設けられた委員会)

組織委員会：古屋龍太 (委員長)、内野俊郎、大丸 幸、小田良光、渡邊文宏

広報委員会：林みづ穂 (委員長)、友國由美子、肥田裕久、松永宏子

研修委員会：坂井一也 (委員長)、池淵恵美、栗原 毅、関 健

編集委員会：西村良二 (委員長)、稲毛義憲、大沼幸子、荻澤健志、小野寺敦志、
熊倉徹雄、齋藤敏靖、高尾由美子、中野英子、四本かやの

査読委員：浅野弘毅、岩下 覚、工藤神威、是恒正達、松永宏子

調査研究委員会：五十嵐良雄 (委員長)、窪田 彰、佐々木裕光、藤田さより、
三家英明、渡辺克徳

(任期：平成 29 年度総会まで)

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、老人デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正 会 員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振 込 先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線 (ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。) -----

入会申込書

申込日 平成 年 月 日

(正会員用)

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日
----	--	----	-----	------	----------	---	---	---

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	()
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別		TEL	()	FAX	()
----	--	-----	-----	-----	-----

会員登録(計 名) ※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ